

第5章 がん検診の受診状況

1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

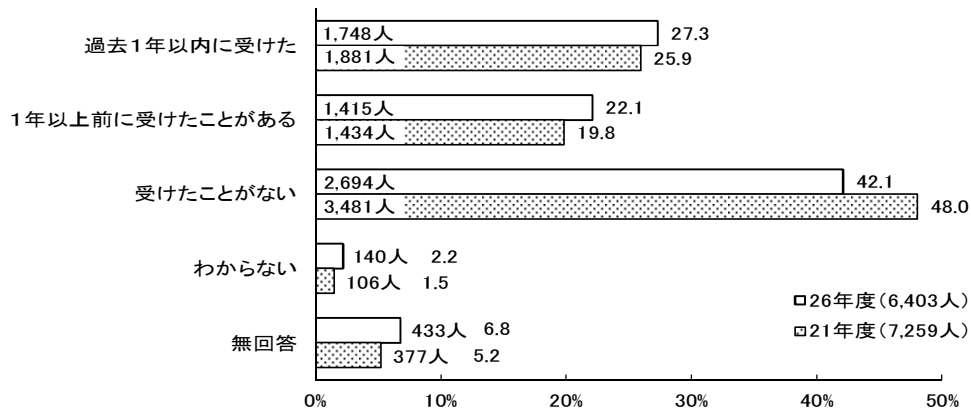
胃がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、27.3%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、42.1%であった。(図Ⅱ-5-1)

胃がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(3,136人)に、検査方法を聞いたところ、「胃エックス線検査」が58.1%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-2)

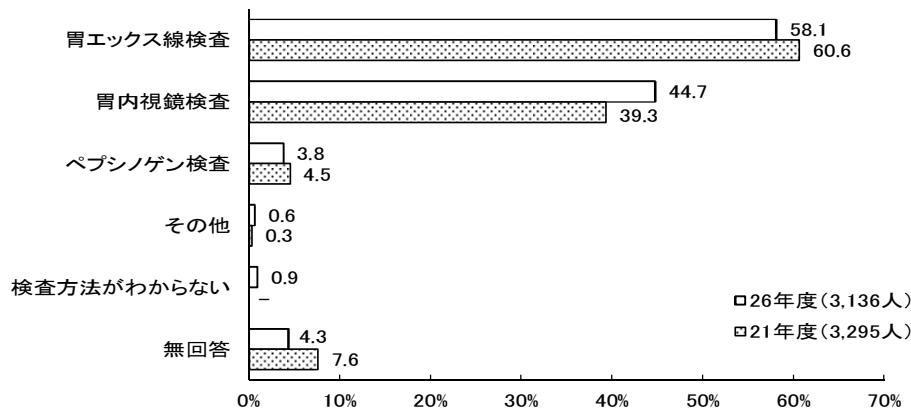
問 胃がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-2 胃がん検診の検査方法[複数回答]



<参考> 胃がん検診に関する国指針

(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…胃部エックス線検査

対象者…40歳以上

受診間隔…年1回

(1) 胃がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

40歳以上で過去1年以内に胃がん検診を受けた人の割合は、男性の方が女性より高い

胃がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性30.4%、女性24.6%で、男性の方が5.8ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は32.3%で、男性36.6%、女性28.6%と、男性の方が8.0ポイント高くなっている。(表Ⅱ-5-1)

表Ⅱ-5-1 胃がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	に過 去1 年 以 内	あ る 受 け た こ と 前 に	な い 受 け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	27.3	22.1	42.1	2.2	6.8
男	100.0 (2,994)	<u>30.4</u>	19.6	41.2	2.6	6.6
20～29歳	100.0 (289)	1.4	1.4	84.4	3.5	9.3
30～39歳	100.0 (455)	18.0	6.6	66.4	3.3	5.9
40～49歳	100.0 (589)	40.1	14.4	37.5	3.4	5.4
50～59歳	100.0 (418)	49.0	16.7	27.5	2.4	5.3
60～69歳	100.0 (516)	35.3	26.6	31.0	1.7	5.8
70～79歳	100.0 (516)	29.1	37.2	25.0	1.2	7.8
80歳以上	100.0 (211)	24.2	32.7	29.9	4.3	9.0
女	100.0 (3,409)	<u>24.6</u>	24.3	42.8	1.8	6.9
20～29歳	100.0 (300)	3.0	2.3	84.3	2.3	8.0
30～39歳	100.0 (457)	15.5	11.6	65.4	1.1	6.6
40～49歳	100.0 (620)	35.2	23.9	35.8	1.5	4.7
50～59歳	100.0 (486)	36.2	30.9	27.8	0.6	4.9
60～69歳	100.0 (596)	27.9	31.9	33.6	0.7	6.2
70～79歳	100.0 (643)	25.2	29.4	34.4	1.4	10.3
80歳以上	100.0 (307)	11.7	29.6	42.3	7.8	8.5
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (4,902)	<u>32.3</u>	26.9	32.6	2.1	6.6
男 40歳以上	100.0 (2,250)	<u>36.6</u>	24.6	30.6	2.4	6.4
女 40歳以上	100.0 (2,652)	<u>28.6</u>	29.0	34.2	1.8	6.9
21年度	100.0 (7,259)	25.9	19.8	48.0	1.5	5.2
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (5,195)	32.0	24.9	37.1	1.4	4.9
男 40歳以上	100.0 (2,435)	36.3	21.7	36.8	1.3	4.3
女 40歳以上	100.0 (2,760)	28.3	27.7	37.4	1.4	5.4

(2) 胃がん検診の受診の有無[複数回答]－就業状況別

主に仕事をしている人で、過去1年以内に胃がん検診を受けた人の割合は、3割

胃がん検診の受診の有無について、就業状況別にみると、「過去1年以内に受けた」割合が最も高いのは、主に仕事をしている人で、32.0%となっている。(表Ⅱ-5-2)

表Ⅱ-5-2 胃がん検診の受診の有無[複数回答]－就業状況別

	総 数	に過 受去 け1 た年 以 内	あ受1 るけ年 た以 たこ上 と前 がに	な受 い け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	27.3	22.1	42.1	2.2	6.8
労働力人口	100.0 (3,887)	30.6	17.8	43.7	2.1	6.2
就業者	100.0 (3,831)	30.9	17.8	43.5	2.1	6.2
主に仕事	100.0 (3,119)	<u>32.0</u>	16.2	44.0	2.1	6.2
家事などのかたわらに仕事	100.0 (573)	28.4	27.1	37.3	2.1	5.8
通学のかたわらに仕事	100.0 (50)	-	-	92.0	2.0	6.0
その他	100.0 (89)	27.0	25.8	37.1	2.2	7.9
仕事を探していた	100.0 (56)	8.9	17.9	62.5	3.6	7.1
非労働力人口	100.0 (2,488)	22.3	28.8	39.5	2.3	7.6
家事(専業)	100.0 (911)	26.0	26.5	39.7	1.3	6.9
通学のみ	100.0 (97)	1.0	3.1	83.5	3.1	9.3
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (1,480)	21.4	31.9	36.4	2.8	7.8

(3) 胃がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

胃がん検診の検査方法について、性・年齢階級別にみると男女とも、「胃エックス線検査」の割合が最も高く、それぞれ、59.0%、57.3%となっている。(表Ⅱ-5-3)

表Ⅱ-5-3 胃がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	胃 エ ッ ク ス 線 検 査	胃 内 視 鏡 検 査	ペ プ シ ノ ゲ ン 検 査	そ の 他	検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (3,136)	58.1	44.7	3.8	0.6	0.9	4.3
男	100.0 (1,484)	<u>59.0</u>	42.9	3.6	0.7	1.2	4.9
20～29歳	100.0 (8)	75.0	25.0	-	-	-	-
30～39歳	100.0 (111)	77.5	21.6	0.9	-	-	6.3
40～49歳	100.0 (316)	73.7	25.3	4.7	0.3	1.9	2.8
50～59歳	100.0 (271)	66.8	35.4	4.1	1.1	0.7	4.1
60～69歳	100.0 (317)	53.6	50.8	2.5	0.3	0.3	6.6
70～79歳	100.0 (341)	45.2	59.8	3.8	1.2	1.8	4.4
80歳以上	100.0 (120)	37.5	58.3	5.0	1.7	2.5	8.3
女	100.0 (1,652)	<u>57.3</u>	46.4	3.9	0.5	0.7	3.8
20～29歳	100.0 (16)	56.3	25.0	6.3	-	6.3	6.3
30～39歳	100.0 (123)	67.5	35.8	0.8	-	-	1.6
40～49歳	100.0 (360)	71.9	35.8	4.7	0.8	0.6	1.7
50～59歳	100.0 (324)	64.2	38.0	5.2	0.6	0.3	3.7
60～69歳	100.0 (355)	54.6	50.4	3.9	-	0.3	4.2
70～79歳	100.0 (347)	41.8	62.0	3.2	0.9	1.2	3.7
80歳以上	100.0 (127)	37.8	56.7	3.1	0.8	1.6	11.0
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (2,878)	56.9	46.2	4.0	0.7	1.0	4.4
男 40歳以上	100.0 (1,365)	57.4	44.8	3.9	0.8	1.3	4.8
女 40歳以上	100.0 (1,513)	56.4	47.5	4.2	0.6	0.7	4.0
21年度	100.0 (3,295)	60.6	39.3	4.5	0.3	-	7.6

2 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

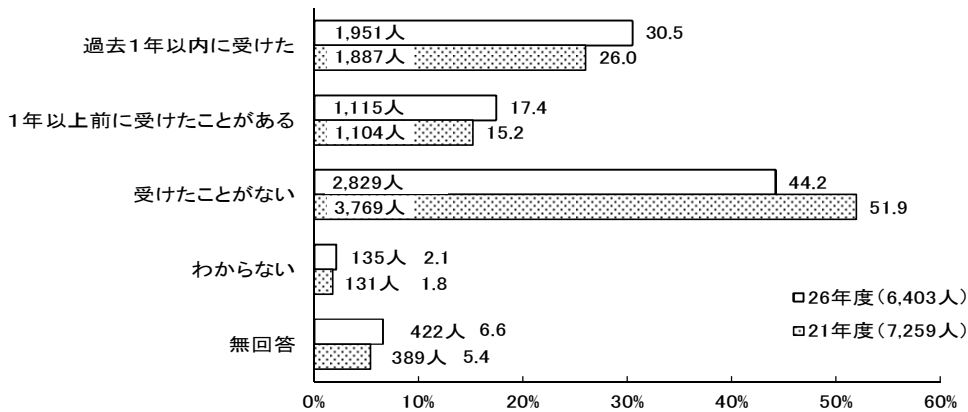
大腸がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、30.5%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、44.2%であった。(図Ⅱ-5-3)

大腸がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(3,017人)に、検査方法を聞いたところ、「便潜血検査」が77.2%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-4)

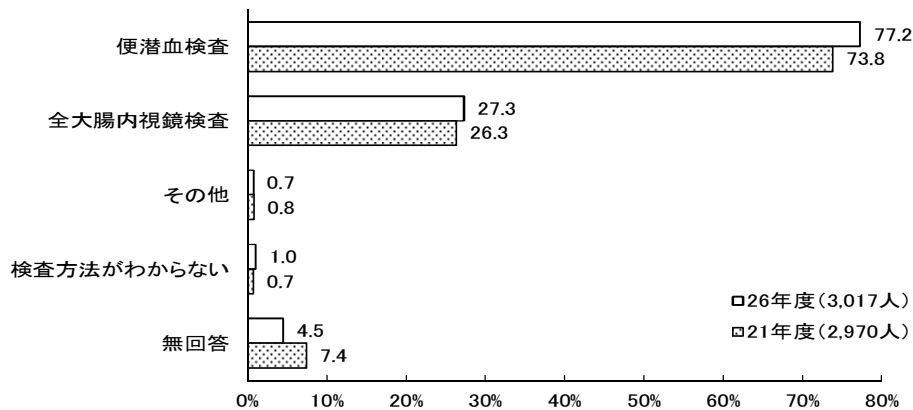
問 大腸がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-3 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-4 大腸がん検診の検査方法[複数回答]



<参考>大腸がん検診に関する国指針

(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…便潜血検査

対象者…40歳以上

受診間隔…年1回

(1) 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

40歳以上で過去1年以内に大腸がん検診を受けた人の割合は、男性の方が女性より高く、21年度調査と比べて4.1ポイント増加

大腸がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性32.2%、女性28.9%で、男性の方が3.3ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は36.8%で、男性39.4%、女性34.7%と、男性の方が4.7ポイント高くなっている。21年度調査と比べて、「過去1年以内に受けた」人の割合は4.1ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は7.1ポイント減少した。(表Ⅱ-5-4)

表Ⅱ-5-4 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—性・年齢階級別

	総 数	に過 去 1 年 以 内	あ る 受 け た こ と が	1 年 以 上 前 に	な い 受 け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	30.5	17.4	44.2	2.1	6.6	
男	100.0 (2,994)	<u>32.2</u>	17.1	42.8	2.5	6.3	
20～29歳	100.0 (289)	2.1	0.7	83.7	3.8	9.7	
30～39歳	100.0 (455)	16.0	4.6	69.7	3.7	5.9	
40～49歳	100.0 (589)	40.2	16.6	36.3	3.1	4.6	
50～59歳	100.0 (418)	51.4	14.1	28.9	2.2	5.3	
60～69歳	100.0 (516)	37.0	23.3	33.9	1.6	5.2	
70～79歳	100.0 (516)	35.1	29.7	27.7	1.4	7.4	
80歳以上	100.0 (211)	29.4	28.0	32.2	2.4	9.0	
女	100.0 (3,409)	<u>28.9</u>	17.7	45.4	1.8	6.9	
20～29歳	100.0 (300)	3.3	1.3	83.3	3.3	8.7	
30～39歳	100.0 (457)	12.5	7.7	71.8	1.8	6.6	
40～49歳	100.0 (620)	37.1	18.7	38.7	1.3	5.0	
50～59歳	100.0 (486)	42.8	20.8	32.7	-	4.5	
60～69歳	100.0 (596)	37.1	21.5	35.1	0.5	6.5	
70～79歳	100.0 (643)	30.6	21.8	37.0	1.7	10.0	
80歳以上	100.0 (307)	20.5	25.7	40.7	6.5	7.2	
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (4,902)	<u>36.8</u>	21.5	34.5	1.8	6.3	
男 40歳以上	100.0 (2,250)	<u>39.4</u>	21.7	32.0	2.1	5.9	
女 40歳以上	100.0 (2,652)	<u>34.7</u>	21.3	36.6	1.6	6.7	
21年度	100.0 (7,259)	26.0	15.2	51.9	1.8	5.4	
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (5,195)	32.7	19.3	41.6	1.7	5.0	
男 40歳以上	100.0 (2,435)	35.7	17.9	40.9	1.6	4.4	
女 40歳以上	100.0 (2,760)	30.0	20.6	42.3	1.8	5.6	

(2) 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

大腸がん検診の受診の有無について、就業状況別にみると、「過去1年以内に受けた」割合は、労働力人口(仕事をしている、探している人)32.1%、非労働力人口(働いていない人)28.0%で、労働力人口の方が4.1ポイント高くなっている。(表Ⅱ-5-5)

表Ⅱ-5-5 大腸がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

	総 数	に過 去 1 年 以 内	あ る 受 け た 以 上 と 前 に	な 受 い け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	30.5	17.4	44.2	2.1	6.6
労働力人口	100.0 (3,887)	<u>32.1</u>	14.5	45.9	2.2	6.0
就業者	100.0 (3,831)	32.4	14.5	45.7	2.2	6.0
主に仕事	100.0 (3,119)	32.7	13.5	46.2	2.3	6.1
家事などのかたわらに仕事	100.0 (573)	33.3	20.2	40.0	1.7	5.2
通学のかたわらに仕事	100.0 (50)	-	2.0	88.0	2.0	8.0
その他	100.0 (89)	32.6	21.3	40.4	-	5.6
仕事を探していた	100.0 (56)	14.3	12.5	64.3	1.8	7.1
非労働力人口	100.0 (2,488)	<u>28.0</u>	22.0	41.4	2.0	7.5
家事(専業)	100.0 (911)	30.4	21.1	41.3	1.2	6.9
通学のみ	100.0 (97)	2.1	1.0	83.5	4.1	9.3
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (1,480)	28.2	23.9	38.6	2.4	7.7

(3) 大腸がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

大腸がん検診の検査方法について、性・年齢階級別にみると男女とも、「便潜血検査」の割合が最も高く、それぞれ、75.6%、78.7%となっている。(表Ⅱ-5-6)

表Ⅱ-5-6 大腸がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	便 潜 血 検 査	全 大 腸 内 視 鏡 検 査	そ の 他	検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (3,017)	77.2	27.3	0.7	1.0	4.5
男	100.0 (1,451)	<u>75.6</u>	30.3	0.9	1.0	4.6
20～29歳	100.0 (8)	75.0	25.0	-	-	-
30～39歳	100.0 (94)	85.1	14.9	-	1.1	5.3
40～49歳	100.0 (330)	86.1	16.7	1.2	1.2	2.7
50～59歳	100.0 (266)	87.2	22.9	0.4	-	2.3
60～69歳	100.0 (306)	72.5	34.0	1.3	1.3	6.5
70～79歳	100.0 (328)	62.2	45.1	0.9	1.2	4.9
80歳以上	100.0 (119)	58.0	46.2	0.8	0.8	9.2
女	100.0 (1,566)	<u>78.7</u>	24.5	0.6	1.0	4.3
20～29歳	100.0 (14)	78.6	7.1	7.1	-	7.1
30～39歳	100.0 (91)	86.8	16.5	-	-	4.4
40～49歳	100.0 (341)	89.1	13.5	0.3	0.9	2.1
50～59歳	100.0 (305)	85.2	17.7	1.0	-	3.3
60～69歳	100.0 (345)	81.4	23.5	0.3	0.3	4.1
70～79歳	100.0 (330)	63.3	42.7	0.6	1.8	4.8
80歳以上	100.0 (140)	63.6	32.9	0.7	4.3	11.4
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (2,810)	76.7	28.1	0.7	1.0	4.4
男 40歳以上	100.0 (1,349)	74.9	31.4	1.0	1.0	4.6
女 40歳以上	100.0 (1,461)	78.2	25.2	0.5	1.1	4.3
21年度	100.0 (2,970)	73.8	26.3	0.8	0.7	7.4

3 肺がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

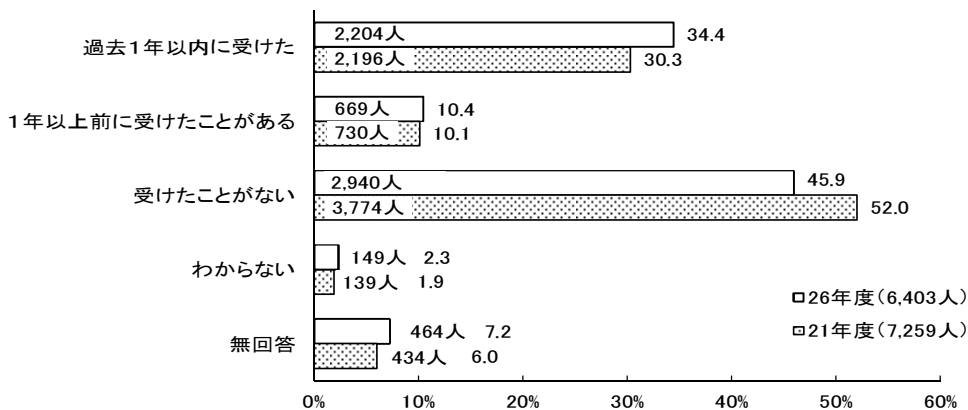
肺がん検診を「過去1年以内に受けた」人の割合は、34.4%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、45.9%であった。(図Ⅱ-5-5)

肺がん検診を「過去1年以内に受けた」と「1年以上前に受けたことがある」と回答した人(2,850人)に、検査方法を聞いたところ、「胸部エックス線検査」が90.1%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-6)

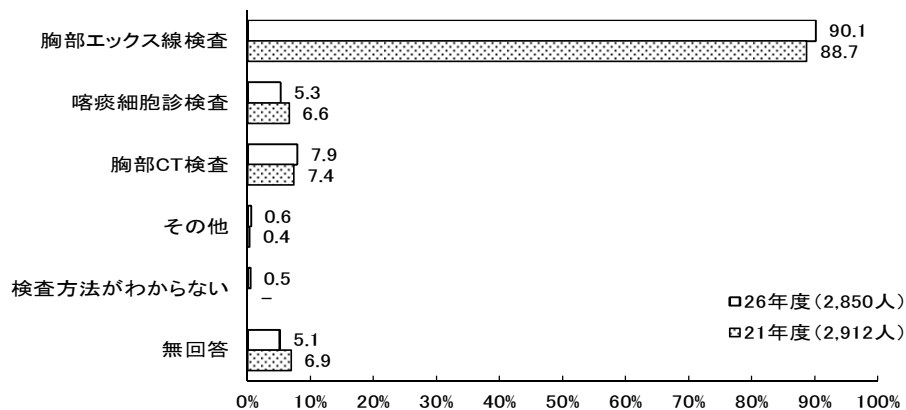
問 肺がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-5 肺がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-6 肺がん検診の検査方法[複数回答]



<参考>肺がん検診に関する国指針

(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…胸部エックス線検査及び喀痰細胞診(医師が必要と認めた者)

対象者…40歳以上

受診間隔…年1回

(1) 肺がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

40歳以上で過去1年以内に肺がん検診を受けた人の割合は、男性の方が女性より高く、21年度調査と比べて4.0ポイント増加

肺がん検診の受診の有無について、性・年齢階級別にみると、「過去1年以内に受けた」人の割合は、男性38.3%、女性31.0%と、男性の方が7.3ポイント高くなっている。

40歳以上で「過去1年以内に受けた」人の割合は40.2%で、男性45.2%、女性36.0%と、男性の方が9.2ポイント高くなっている。21年度調査と比べて、「過去1年以内に受けた」人の割合は4.0ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は5.7ポイント減少した。(表Ⅱ-5-7)

表Ⅱ-5-7 肺がん検診の受診の有無[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	に過 去1 年 以 内	あ る 受 け た こ と 前 に	な い 受 け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	34.4	10.4	45.9	2.3	7.2
男	100.0 (2,994)	<u>38.3</u>	9.6	42.4	2.8	7.2
20～29歳	100.0 (289)	7.6	2.1	76.5	4.5	9.3
30～39歳	100.0 (455)	23.7	3.5	63.1	3.7	5.9
40～49歳	100.0 (589)	46.3	7.8	37.0	3.1	5.9
50～59歳	100.0 (418)	58.4	9.1	24.9	2.6	5.5
60～69歳	100.0 (516)	44.0	12.6	35.9	1.9	6.0
70～79歳	100.0 (516)	39.5	15.9	33.9	2.1	9.1
80歳以上	100.0 (211)	33.2	16.6	37.4	2.4	11.8
女	100.0 (3,409)	<u>31.0</u>	11.2	49.0	1.9	7.3
20～29歳	100.0 (300)	7.7	1.7	81.0	1.7	8.0
30～39歳	100.0 (457)	17.3	6.6	68.5	1.5	6.3
40～49歳	100.0 (620)	40.3	13.2	40.2	1.5	5.2
50～59歳	100.0 (486)	47.3	13.8	33.7	0.4	5.1
60～69歳	100.0 (596)	35.6	15.1	42.1	1.2	6.7
70～79歳	100.0 (643)	30.0	12.3	45.7	1.1	11.0
80歳以上	100.0 (307)	22.5	9.1	51.1	8.8	9.1
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (4,902)	<u>40.2</u>	12.5	38.3	2.2	7.3
男 40歳以上	100.0 (2,250)	<u>45.2</u>	11.8	33.8	2.4	7.2
女 40歳以上	100.0 (2,652)	<u>36.0</u>	13.0	42.0	2.0	7.4
21年度	100.0 (7,259)	30.3	10.1	52.0	1.9	6.0
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (5,195)	36.2	12.3	44.0	1.9	5.9
男 40歳以上	100.0 (2,435)	40.8	11.3	41.3	1.8	5.0
女 40歳以上	100.0 (2,760)	32.1	13.2	46.3	2.0	6.6

(2) 肺がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

肺がん検診の受診の有無について、就業状況別にみると、「過去1年以内に受けた」割合は、労働力人口(仕事をしている、探している人)37.7%、非労働力人口(働いていない人)29.4%で、労働力人口の方が8.3ポイント高くなっている。(表Ⅱ-5-8)

表Ⅱ-5-8 肺がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

	総 数	に過 去 け1 た年 以内	あ 受 る け た こ と 前 に	な 受 い け た こ と が	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (6,403)	34.4	10.4	45.9	2.3	7.2
労働力人口	100.0 (3,887)	<u>37.7</u>	8.1	45.8	2.1	6.5
就業者	100.0 (3,831)	38.1	8.1	45.5	2.1	6.5
主に仕事	100.0 (3,119)	38.7	7.2	45.5	2.2	6.6
家事などのかたわらに仕事	100.0 (573)	37.5	13.1	42.1	1.7	5.8
通学のかたわらに仕事	100.0 (50)	6.0	-	86.0	2.0	6.0
その他	100.0 (89)	36.0	10.1	46.1	-	7.9
仕事を探していた	100.0 (56)	14.3	12.5	62.5	3.6	7.1
非労働力人口	100.0 (2,488)	<u>29.4</u>	14.1	46.0	2.7	8.3
家事(専業)	100.0 (911)	31.2	12.7	47.7	1.8	6.9
通学のみ	100.0 (97)	4.1	3.1	79.4	4.1	9.3
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (1,480)	29.9	15.6	42.8	3.2	9.1

(3) 肺がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

肺がん検診の検査方法について、性・年齢階級別にみると男女とも、「胸部エックス線検査」の割合が最も高く、それぞれ、90.2%、90.0%となっている。(表Ⅱ-5-9)

表Ⅱ-5-9 肺がん検診の検査方法[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	胸 部 エ ッ ク ス 線 検 査	喀 痰 細 胞 診 検 査	胸 部 C T 検 査	そ の 他	検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (2,850)	90.1	5.3	7.9	0.6	0.5	5.1
男	100.0 (1,425)	<u>90.2</u>	5.8	9.3	0.6	0.3	5.0
20～29歳	100.0 (28)	89.3	-	-	-	-	10.7
30～39歳	100.0 (124)	92.7	2.4	4.8	-	-	7.3
40～49歳	100.0 (318)	90.9	4.4	4.7	0.3	0.9	3.1
50～59歳	100.0 (280)	93.2	3.9	6.8	-	-	3.6
60～69歳	100.0 (290)	90.0	7.9	12.1	1.0	-	5.9
70～79歳	100.0 (283)	88.3	8.1	12.7	0.4	0.4	4.9
80歳以上	100.0 (102)	83.3	7.8	21.6	2.9	-	7.8
女	100.0 (1,425)	<u>90.0</u>	4.8	6.4	0.6	0.7	5.3
20～29歳	100.0 (28)	82.1	-	-	-	-	17.9
30～39歳	100.0 (108)	94.4	0.9	4.6	-	0.9	2.8
40～49歳	100.0 (330)	94.2	4.8	3.6	0.3	1.2	1.5
50～59歳	100.0 (295)	90.5	4.1	6.4	0.7	-	5.4
60～69歳	100.0 (298)	88.3	6.4	10.1	0.7	0.3	7.0
70～79歳	100.0 (271)	86.7	5.9	7.7	1.1	1.5	5.2
80歳以上	100.0 (95)	86.3	4.2	4.2	-	-	11.6
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (2,562)	89.9	5.7	8.3	0.6	0.5	4.9
男 40歳以上	100.0 (1,273)	90.0	6.2	10.0	0.6	0.3	4.6
女 40歳以上	100.0 (1,289)	89.8	5.2	6.7	0.6	0.7	5.2
21年度	100.0 (2,912)	88.7	6.6	7.4	0.4	-	6.9

4 乳がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

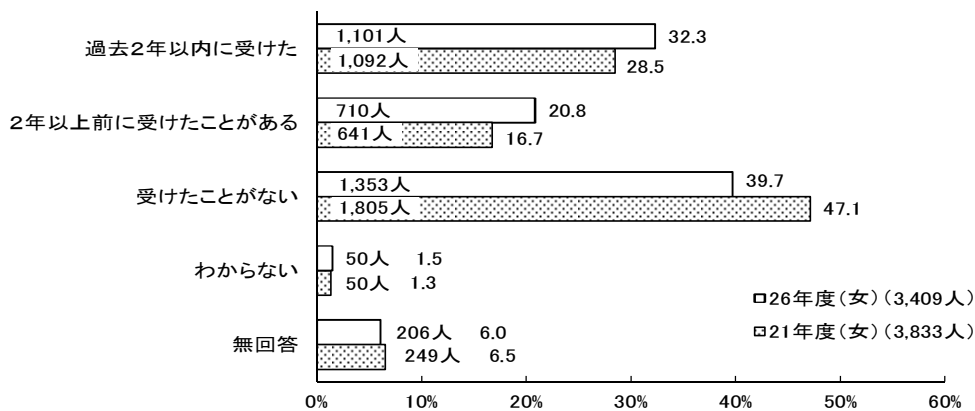
女性で乳がん検診を「過去2年以内に受けた」人の割合は、32.3%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、39.7%であった。(図Ⅱ-5-7)

乳がん検診を「過去2年以内に受けた」と「2年以上前に受けたことがある」と回答した人(1,800人)に、検査方法を聞いたところ、「マンモグラフィ検査」が70.1%で最も高く、次いで「視触診検査」が58.5%、「乳房超音波(エコー)検査」が42.8%であった。(図Ⅱ-5-8)

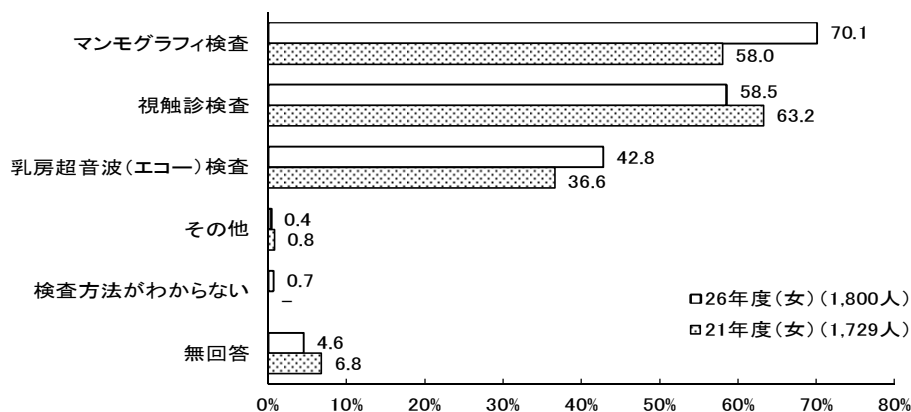
問 乳がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。(女性のみ)

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-7 乳がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-8 乳がん検診の検査方法[複数回答]



<参考> 乳がん検診に関する国指針

(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…マンモグラフィ及び視触診

対象者…40歳以上の女性

受診間隔…2年に1回

(1) 乳がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

40歳以上で過去2年以内に乳がん検診を受けた人の割合は、40代・50代では5割、21年度調査と比べて3.3ポイント増加

乳がん検診の受診の有無について、年齢階級別にみると、「過去2年以内に受けた」人の割合は、50代が最も高く55.3%、次いで40代が54.0%となっている。

40歳以上で「過去2年以内に受けた」人の割合は34.2%で、21年度調査と比べて、「過去2年以内に受けた」人の割合は3.3ポイント増加し、「受けたことがない」人の割合は6.4ポイント減少した。(表Ⅱ-5-10)

表Ⅱ-5-10 乳がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

	総 数	過 去 2 年 以 内 に 受 け た	こ と 2 年 が 以 上 あ る 前 に 受 け た	受 け た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (3,409)	32.3	20.8	39.7	1.5	6.0
20～29歳	100.0 (300)	9.0	6.3	74.3	2.7	8.0
30～39歳	100.0 (457)	36.5	13.8	44.9	0.7	4.4
40～49歳	100.0 (620)	<u>54.0</u>	21.3	22.4	0.6	2.6
50～59歳	100.0 (486)	<u>55.3</u>	20.6	21.4	-	2.9
60～69歳	100.0 (596)	29.2	33.2	32.2	0.3	5.4
70～79歳	100.0 (643)	16.8	24.4	46.0	1.9	10.9
80歳以上	100.0 (307)	6.8	13.4	63.2	6.8	9.8
(再掲) 40歳以上	100.0 (2,652)	<u>34.2</u>	23.7	34.9	1.5	6.1
21年度(女)	100.0 (3,833)	28.5	16.7	47.1	1.3	6.5
(再掲) 40歳以上	100.0 (2,760)	30.9	20.4	41.3	1.4	6.2

(2) 乳がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

過去2年以内に乳がん検診を受けた人の割合は、主に仕事をしている人、家事などのかたわらに仕事をしている人では、4割を超えている

乳がん検診の受診の有無について、就業状況別にみると、「過去2年以内に受けた」割合は、主に仕事をしている人が40.8%、家事などのかたわらに仕事をしている人が46.1%と4割を超えている。(表Ⅱ-5-11)

表Ⅱ-5-11 乳がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

	総 数	過 去 2 年 以 内 に 受 け た	こ と 2 年 が 以 上 前 に 受 け た	受 け た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (3,409)	32.3	20.8	39.7	1.5	6.0
労働力人口	100.0 (1,693)	41.6	18.0	35.5	0.7	4.7
就業者	100.0 (1,668)	42.0	18.0	35.1	0.7	4.6
主に仕事	100.0 (1,076)	<u>40.8</u>	17.0	37.1	0.7	4.8
家事などのかたわらに仕事	100.0 (544)	<u>46.1</u>	20.8	29.2	0.6	3.9
通学のかたわらに仕事	100.0 (20)	-	-	90.0	5.0	5.0
その他	100.0 (28)	39.3	14.3	35.7	-	10.7
仕事を探していた	100.0 (25)	16.0	16.0	60.0	-	8.0
非労働力人口	100.0 (1,700)	23.1	23.4	44.1	2.2	7.4
家事(専業)	100.0 (905)	30.4	25.6	36.6	1.2	6.4
通学のみ	100.0 (44)	9.1	2.3	84.1	2.3	4.5
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (751)	15.0	22.0	50.7	3.5	8.8

(3) 乳がん検診の受診の有無[複数回答]－認知度[ピンクリボン運動]別

ピンクリボン運動について知っている人で、「過去2年以内に乳がん検診を受けた」割合は4割

乳がん検診の受診の有無について、認知度[ピンクリボン運動]別にみると「過去2年以内に受けた」人の割合は、ピンクリボン運動を知っている人は43.0%で、中身は知らないが言葉は聞いたことがある人(31.6%)、知らない人(18.8%)より高くなっている。(表Ⅱ-5-12)

表Ⅱ-5-12 乳がん検診の受診の有無[複数回答]－認知度[ピンクリボン運動]別

	総 数	過 去 2 年 以 内 に 受 け た	こ と 2 年 が 以 上 前 に 受 け た	受 け た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (3,409)	32.3	20.8	39.7	1.5	6.0
知っている	100.0 (1,644)	<u>43.0</u>	23.2	31.4	0.2	2.6
中身は知らないが言葉は聞いたことがある	100.0 (567)	<u>31.6</u>	21.9	43.2	1.9	1.9
知らない	100.0 (939)	<u>18.8</u>	18.2	53.7	3.4	5.9
21年度(女)	100.0 (3,833)	28.5	16.7	47.1	1.3	6.5

(4) 乳がん検診の検査方法[複数回答]一年齢階級別

乳がん検診の検査方法について、年齢階級別にみると、「マンモグラフィ検査」の割合が40代は76.8%、50代は82.3%、60代は74.1%と高かった。

20代及び30代では、「乳房超音波（エコー）検査」の割合が高かった。（表Ⅱ-5-13）

表Ⅱ-5-13 乳がん検診の検査方法[複数回答]一年齢階級別

	総 数	マン モ グ ラ フ ィ 検 査	視 触 診 検 査	検 査 乳 房 超 音 波 （ エ コ ー ）	そ の 他	検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (1,800)	70.1	58.5	42.8	0.4	0.7	4.6
20～29歳	100.0 (45)	37.8	51.1	<u>60.0</u>	2.2	4.4	4.4
30～39歳	100.0 (229)	47.2	61.6	<u>62.0</u>	-	0.4	2.6
40～49歳	100.0 (461)	<u>76.8</u>	62.9	49.0	0.4	0.4	3.9
50～59歳	100.0 (368)	<u>82.3</u>	59.2	46.2	0.3	-	4.9
60～69歳	100.0 (370)	<u>74.1</u>	57.0	34.3	0.3	0.3	5.1
70～79歳	100.0 (265)	67.2	51.7	24.5	0.8	1.1	5.3
80歳以上	100.0 (62)	43.5	53.2	21.0	-	4.8	8.1
(再掲) 40歳以上	100.0 (1,526)	74.4	58.3	39.4	0.4	0.6	4.8
21年度(女)	100.0 (1,729)	58.0	63.2	36.6	0.8	-	6.8

5 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]と検査方法[複数回答]

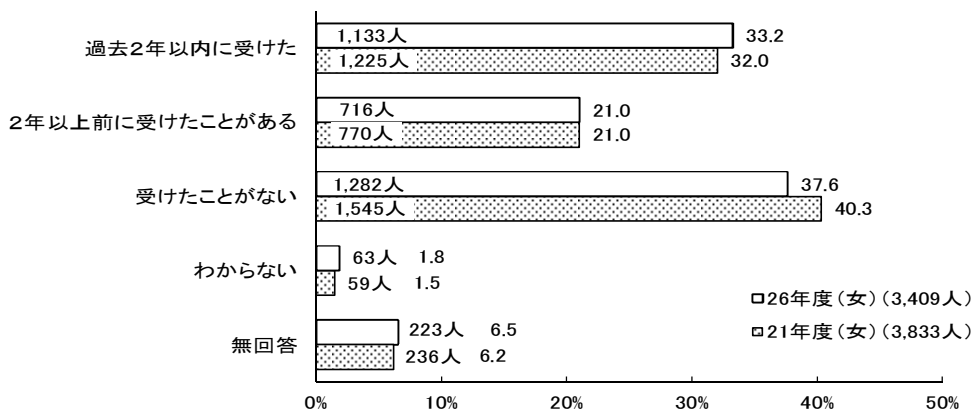
女性で子宮頸がん検診を「過去2年以内に受けた」人の割合は、33.2%であった。一方で、「受けたことがない」人の割合は、37.6%であった。(図Ⅱ-5-9)

子宮がん検診を「過去2年以内に受けた」と「2年以上前に受けたことがある」と回答した人(1,841人)に、検査方法を聞いたところ、「細胞診検査(医師による採取)」が87.5%で最も高くなっている。(図Ⅱ-5-10)

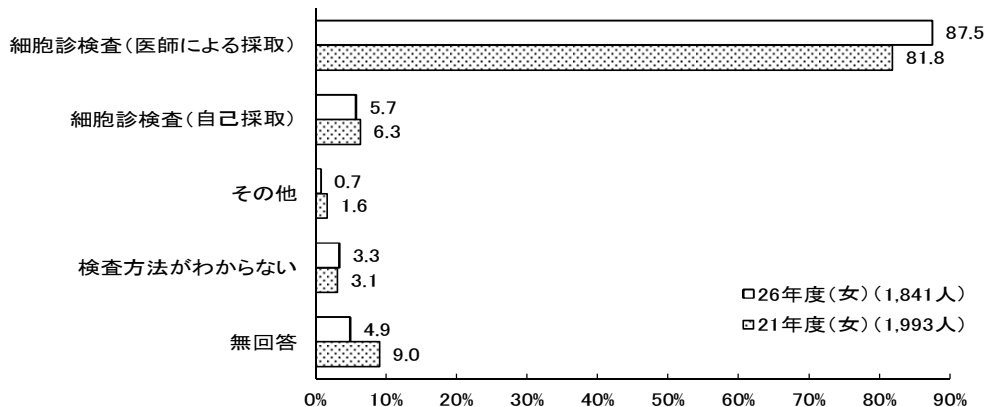
問 子宮頸がん検診の受診の有無と検査方法を選んでください。(女性のみ)

注) がん検診については、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したものも含む。

図Ⅱ-5-9 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]



図Ⅱ-5-10 子宮頸がん検診の検査方法[複数回答]



注) 「子宮頸がん検診」は、21年度調査では「子宮がん検診」としていた。

<参考>子宮頸がん検診に関する国指針

(「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

検査方法…視診、子宮頸部の細胞診(医師による採取)及び内診

対象者…20歳以上の女性

受診間隔…2年に1回

(1) 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

過去2年以内に子宮頸がん検診を受けた人の割合は、30代、40代が高く5割

子宮頸がん検診の受診の有無について、年齢階級別にみると、「過去2年以内に受けた」人の割合は、30代が最も高く57.5%、次いで40代の52.6%と、いずれも5割を超えている。(表II-5-14)

表II-5-14 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]一年齢階級別

	総 数	過 去 2 年 以 内 に 受 け た	こ と 2 年 が 以 上 前 に 受 け た	受 け た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (3,409)	33.2	21.0	37.6	1.8	6.5
20～29歳	100.0 (300)	26.7	6.3	58.7	2.7	5.7
30～39歳	100.0 (457)	<u>57.5</u>	16.0	22.3	0.9	3.5
40～49歳	100.0 (620)	<u>52.6</u>	23.7	20.0	1.1	3.1
50～59歳	100.0 (486)	44.9	25.5	24.9	0.2	4.7
60～69歳	100.0 (596)	23.7	30.7	38.9	0.7	6.5
70～79歳	100.0 (643)	14.3	21.2	50.7	2.0	11.8
80歳以上	100.0 (307)	4.2	11.1	65.5	8.5	10.7
21年度(女)	100.0 (3,833)	32.0	20.1	40.3	1.5	6.2

注) 21年度調査では、「子宮がん検診」としていた。

(2) 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

過去2年以内に子宮頸がん検診を受けた人の割合は、主に仕事をしている人、家事などのかたわらに仕事をしている人では、4割を超えている

子宮頸がん検診の受診の有無について、就業状況別にみると、「過去2年以内に受けた」割合は、主に仕事をしている人が42.7%、家事などのかたわらに仕事をしている人が43.9%で、4割を超えている。(表Ⅱ-5-15)

表Ⅱ-5-15 子宮頸がん検診の受診の有無[複数回答]—就業状況別

	総 数	過 去 2 年 以 内 に 受 け た	こ と 2 年 が 以 上 前 に 受 け た	受 け た こ と が な い	わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (3,409)	33.2	21.0	37.6	1.8	6.5
労働力人口	100.0 (1,693)	42.3	20.1	31.8	0.9	5.2
就業者	100.0 (1,668)	42.6	20.1	31.4	1.0	5.2
主に仕事	100.0 (1,076)	42.7	18.6	32.9	0.9	5.3
家事などのかたわらに仕事	100.0 (544)	43.9	23.5	26.8	1.1	4.8
通学のかたわらに仕事	100.0 (20)	15.0	-	80.0	-	5.0
その他	100.0 (28)	35.7	25.0	28.6	-	10.7
仕事を探していた	100.0 (25)	20.0	20.0	56.0	-	4.0
非労働力人口	100.0 (1,700)	24.1	21.8	43.6	2.7	7.9
家事(専業)	100.0 (905)	33.9	24.3	34.0	1.8	6.1
通学のみ	100.0 (44)	11.4	2.3	84.1	2.3	2.3
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (751)	13.0	20.0	52.7	3.9	10.4
21年度(女)	100.0 (3,833)	32.0	20.1	40.3	1.5	6.2

注) 21年度調査では、「子宮がん検診」としていた。

(3) 子宮頸がん検診の検査方法[複数回答]一年齢階級別

子宮頸がん検診の検査方法について、年齢階級別にみると、すべての年代において「細胞診検査(医師による採取)」の割合が最も高くなっている。(表Ⅱ-5-16)

表Ⅱ-5-16 子宮頸がん検診の検査方法[複数回答]一年齢階級別

	総 数	(細胞 診による 採取)	(細胞 診採取)	そ の 他	検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
総数(女)	100.0 (1,841)	87.5	5.7	0.7	3.3	4.9
20～29歳	100.0 (99)	<u>92.9</u>	3.0	-	1.0	3.0
30～39歳	100.0 (335)	<u>87.8</u>	4.8	-	3.6	5.7
40～49歳	100.0 (470)	<u>89.6</u>	6.0	0.6	2.3	3.6
50～59歳	100.0 (341)	<u>89.7</u>	7.0	1.5	1.2	3.8
60～69歳	100.0 (321)	<u>87.2</u>	6.5	0.6	3.4	4.4
70～79歳	100.0 (228)	<u>83.8</u>	4.8	1.3	4.8	7.0
80歳以上	100.0 (47)	<u>55.3</u>	4.3	-	23.4	17.0
21年度(女)	100.0 (1,993)	81.8	6.3	1.6	3.1	9.0

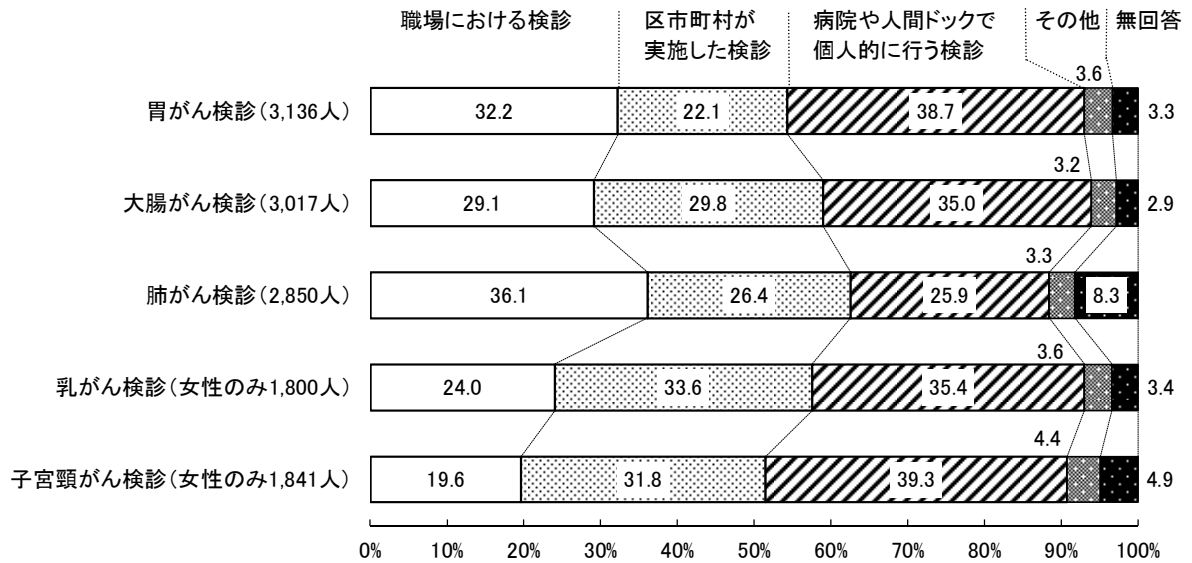
注) 21年度調査では、「子宮がん検診」としていた。

6 がん検診の受診場所

それぞれのがん検診の受診者に、受診した場所を聞いたところ、肺がんを除くすべてのがん検診で「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が高くなっている。肺がん検診は「職場における検診」を受けた人の割合が36.1%と最も高くなっている。(図Ⅱ-5-11)

問 がん検診をどこで受けましたか。

図Ⅱ-5-11 がん検診の受診場所



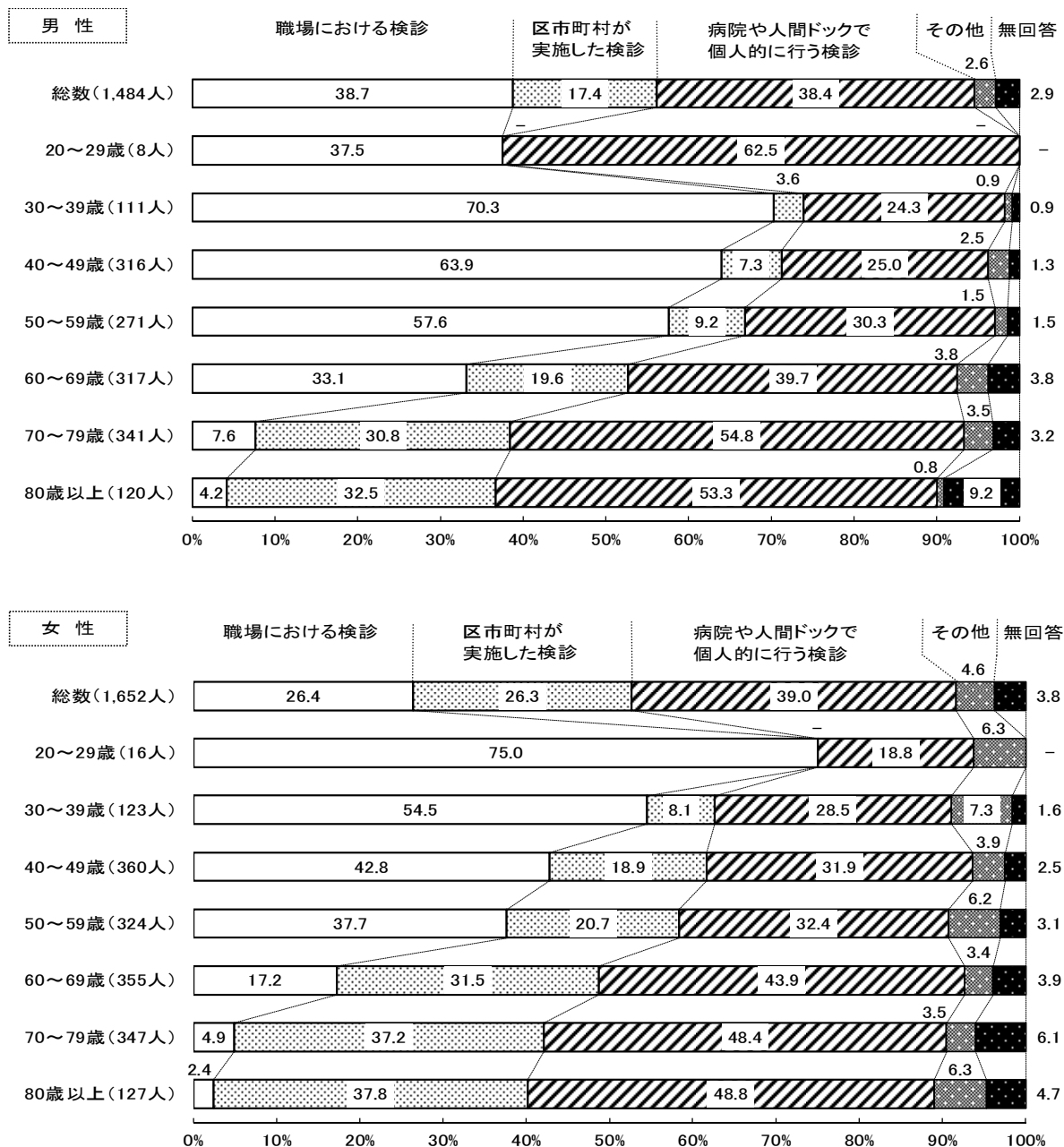
(1) 胃がん検診の受診場所一性・年齢階級別

「職場における検診」を受けた人の割合は、男性の方が女性より高い

胃がん検診の受診場所について、性・年齢階級別にみると、「職場における検診」を受けた人の割合は、男性 38.7%、女性 26.4%で、男性の方が 12.3 ポイント高くなっている。

男性の 30 代～50 代、女性の 20 代～30 代は「職場における検診」を受けた人の割合が高く、いずれも 5 割を超えている。(図Ⅱ-5-12)

図Ⅱ-5-12 胃がん検診の受診場所一性・年齢階級別



(2) 胃がん検診の受診場所－就業状況別

主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人が5割

胃がん検診の受診場所について、就業状況別にみると、主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人の割合が51.8%と最も高くなっている。(表Ⅱ-5-17)

表Ⅱ-5-17 胃がん検診の受診場所－就業状況別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	検 診 市 町 村 が 実 施 し た	個 人 的 に 行 う ド ク ク で	病 院 や 人 間 ド ク ク で	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (3,136)	32.2	22.1	38.7	3.6	3.3	
労働力人口	100.0 (1,863)	46.7	15.9	31.8	3.0	2.6	
就業者	100.0 (1,848)	46.8	15.7	31.9	2.9	2.6	
主に仕事	100.0 (1,487)	51.8	13.2	30.5	2.5	2.0	
家事などのかたわらに仕事	100.0 (314)	27.1	25.5	37.6	5.1	4.8	
その他	100.0 (47)	21.3	31.9	38.3	2.1	6.4	
仕事を探していた	100.0 (15)	33.3	33.3	20.0	6.7	6.7	
非労働力人口	100.0 (1,262)	11.0	31.1	49.0	4.5	4.4	
家事(専業)	100.0 (474)	15.6	32.1	43.7	4.9	3.8	
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (784)	8.3	30.6	51.9	4.3	4.8	
21年度	100.0 (3,295)	30.9	22.9	40.9	2.8	2.5	

注1) 労働力人口の就業者のうち、通学のかたわらに仕事については、該当者がいないため省略した。

2) 非労働力人口のうち、通学のみについては、母集団が4人のため省略した。

(3) 大腸がん検診の受診場所一性・年齢階級別

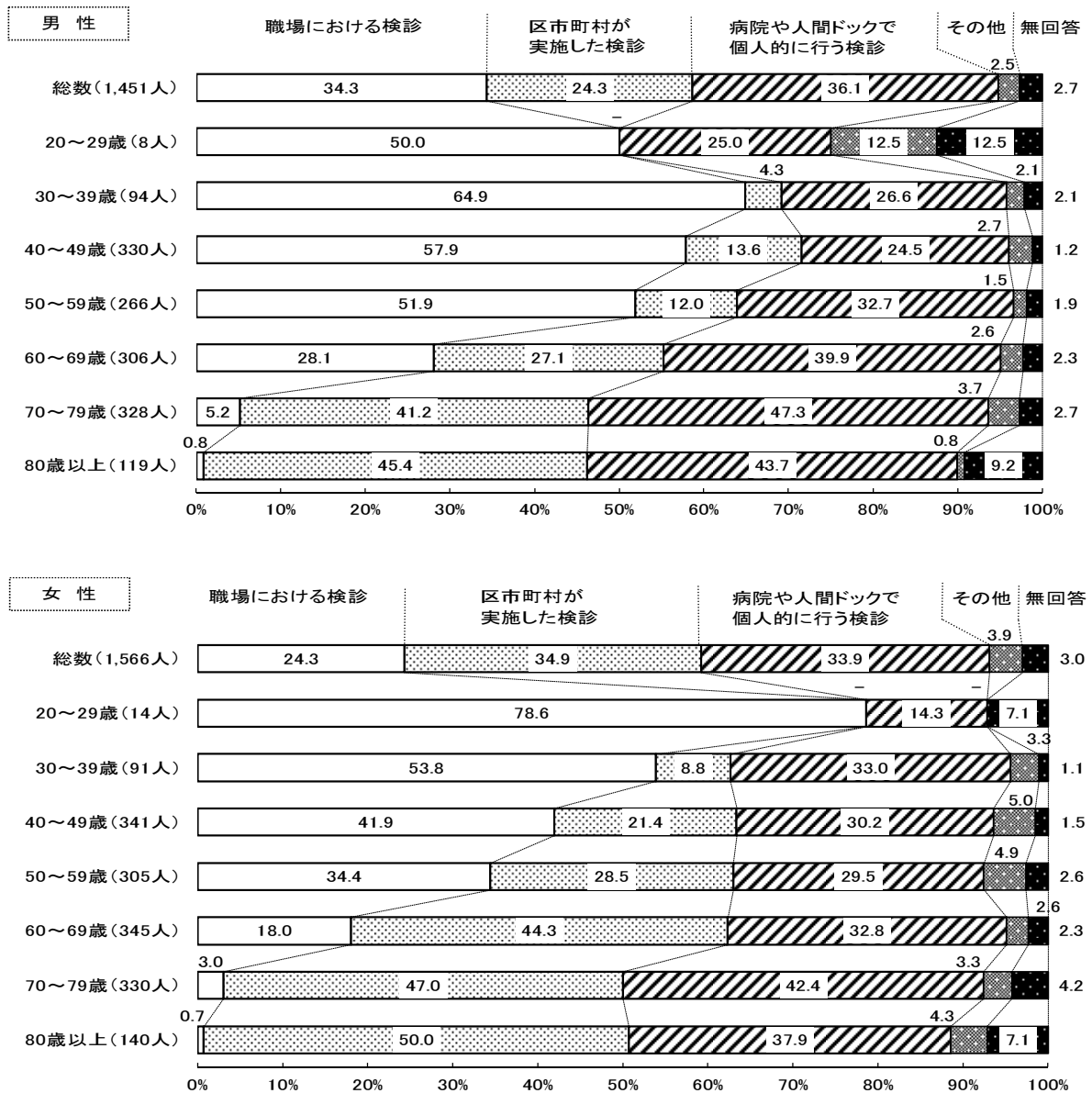
「職場における検診」を受けた人の割合は、男性の方が女性より高い

大腸がん検診の受診場所について、性・年齢階級別にみると、男性は「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が最も高く 36.1%、女性は「区市町村が実施した検診」を受けた人の割合が最も高く 34.9%となっている。次いで、男性は「職場における検診」を受けた人の割合が高く 34.3%、女性は「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が高く 33.9%となっている。

「職場における検診」を受けた人の割合は、男性 34.3%、女性 24.3%で、女性より男性の方が 10 ポイント高くなっている。

男性の 20 代～50 代、女性の 20 代～30 代は「職場における検診」を受けた人の割合が高く、いずれも 5 割を超えている。(図Ⅱ-5-13)

図Ⅱ-5-13 大腸がん検診の受診場所一性・年齢階級別



(4) 大腸がん検診の受診場所－就業状況別

主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人が5割弱

大腸がん検診の受診場所について、就業状況別にみると、主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人の割合が47.4%と最も高くなっている。(表Ⅱ-5-18)

表Ⅱ-5-18 大腸がん検診の受診場所－就業状況別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	検 診 区 市 町 村 が 実 施 し た	個 人 的 に 行 う ド ツ ク で	病 院 や 人 間 ド ツ ク で	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (3,017)	29.1	29.8	35.0	3.2	2.9	
労働力人口	100.0 (1,783)	42.9	21.2	30.8	2.7	2.4	
就業者	100.0 (1,768)	43.0	21.0	30.8	2.8	2.3	
主に仕事	100.0 (1,415)	47.4	18.2	29.9	2.4	2.0	
家事などのかたわらに仕事	100.0 (304)	25.7	31.9	33.9	4.9	3.6	
その他	100.0 (48)	25.0	35.4	37.5	-	2.1	
仕事を探していた	100.0 (15)	26.7	40.0	26.7	-	6.7	
非労働力人口	100.0 (1,223)	9.1	42.4	41.0	4.0	3.5	
家事(専業)	100.0 (461)	15.8	39.3	37.7	4.6	2.6	
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (759)	5.0	44.4	43.0	3.7	4.0	
21年度	100.0 (2,970)	29.5	28.1	36.7	3.3	2.4	

注1) 労働力人口の就業者のうち、通学のかたわらに仕事については、母集団が1人のため省略した。

2) 非労働力人口のうち、通学のみについては、母集団が3人のため省略した。

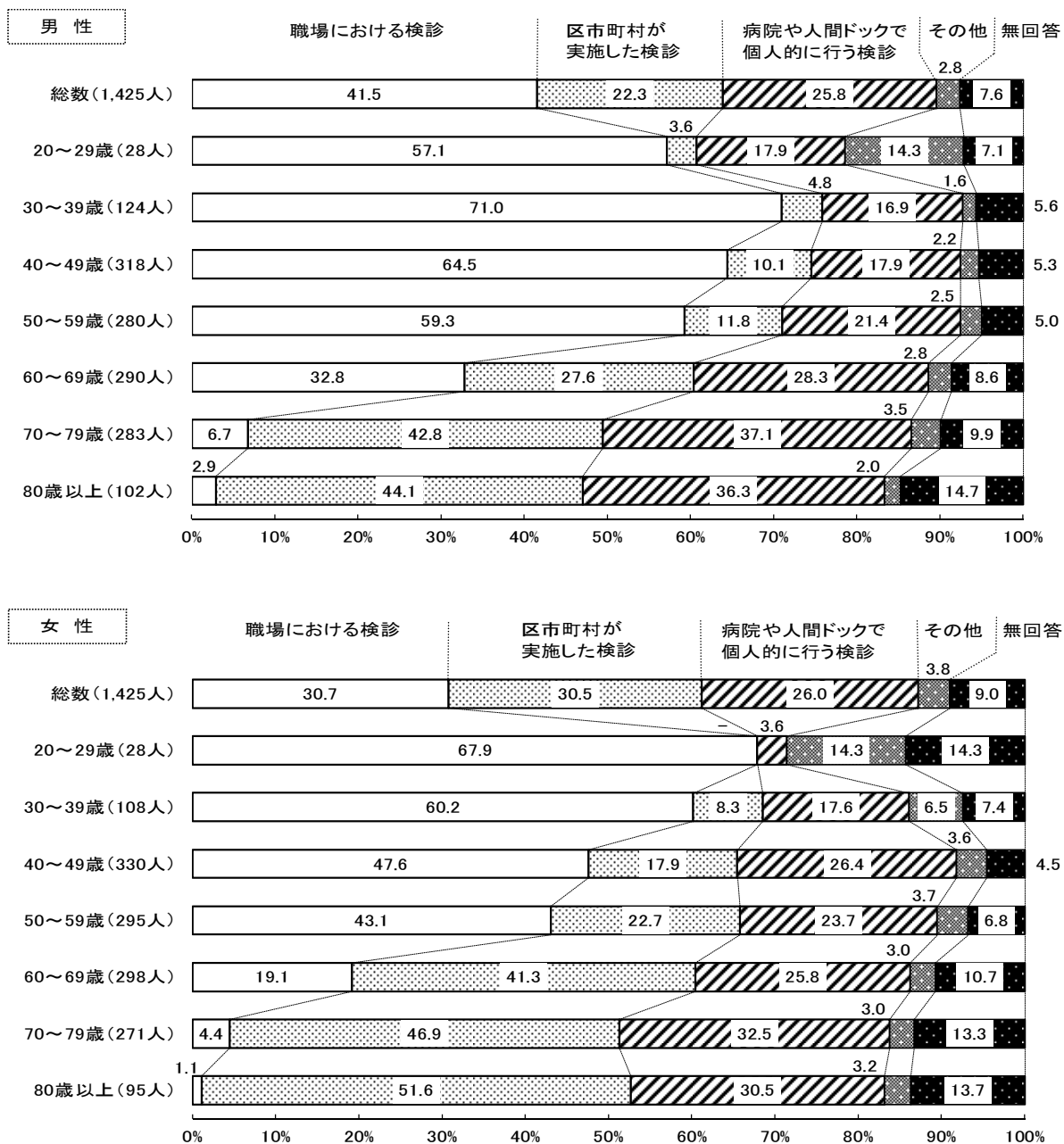
(5) 肺がん検診の受診場所一性・年齢階級別

「職場における検診」を受けた人の割合は、男性の方が女性より高い

肺がん検診の受診場所について、性・年齢階級別にみると、男女とも「職場における検診」を受けた人の割合が最も高く、41.5%、30.7%となっている。次いで、男性は、「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が高く25.8%、女性は、「区市町村が実施した検診」を受けた人の割合が高く30.5%となっている。

男性の20代～50代、女性の20代～30代は「職場における検診」を受けた人の割合が高く、いずれも5割を超えている。(図Ⅱ-5-14)

図Ⅱ-5-14 肺がん検診の受診場所一性・年齢階級別



(6) 肺がん検診の受診場所－就業状況別

主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人が5割を超えている

肺がん検診の受診場所について、就業状況別にみると、主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人の割合が56.4%と最も高くなっている。

その他（幼児、高齢、病気等）の人は、「区市町村が実施した検診」を受けた人が43.6%と最も高くなっている。（表Ⅱ-5-19）

表Ⅱ-5-19 肺がん検診の受診場所－就業状況別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	検 区 市 町 村 が 実 施 し た	個 病 院 的 や 人 間 ド ック で	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,850)	36.1	26.4	25.9	3.3	8.3
労働力人口	100.0 (1,772)	51.3	18.0	20.8	2.8	7.2
就業者	100.0 (1,757)	51.4	17.9	20.8	2.8	7.1
主に仕事	100.0 (1,424)	<u>56.4</u>	15.0	19.7	2.2	6.7
家事などのかたわらに仕事	100.0 (289)	30.4	28.7	27.0	5.2	8.7
その他	100.0 (41)	24.4	43.9	19.5	2.4	9.8
仕事を探していた	100.0 (15)	40.0	33.3	13.3	-	13.3
非労働力人口	100.0 (1,069)	11.0	40.4	34.2	4.2	10.1
家事(専業)	100.0 (397)	18.6	35.8	31.7	5.0	8.8
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (665)	6.3	<u>43.6</u>	35.6	3.5	11.0
総数	100.0 (2,912)	36.9	25.4	29.2	2.3	6.2

注1) 労働力人口の就業者のうち、通学のかたわらに仕事については、母集団が3人のため省略した。

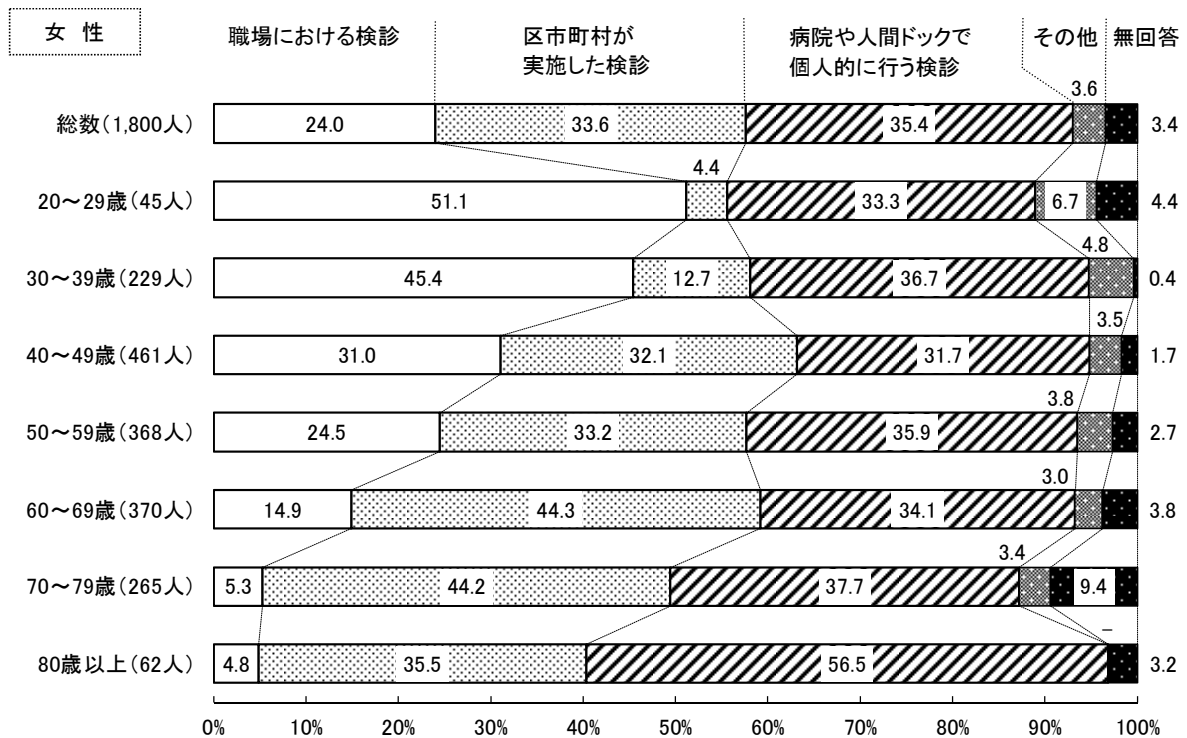
2) 非労働力人口のうち、通学のみについては、母集団が7人のため省略した。

(7) 乳がん検診の受診場所一年齢階級別

「職場における検診」を受けた人の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている

乳がん検診の受診場所について、女性の年齢階級別にみると、年齢が上がるにつれて、「職場における検診」を受けた人の割合が低くなり、「区市町村が実施した検診」を受けた人の割合がおおむね高くなっている。(図Ⅱ-5-15)

図Ⅱ-5-15 乳がん検診の受診場所一年齢階級別



(8) 乳がん検診の受診場所－就業状況別

主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人が4割

乳がん検診の受診場所について、就業状況別にみると、主に仕事をしている人は、「職場における検診」を受けた人の割合が40.7%と最も高くなっている。

家事（専業）の人は、「区市町村が実施した検診」を受けた人が38.6%、その他（幼児、高齢、病気等）の人は、「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人が45.3%と、それぞれ最も高くなっている。（表Ⅱ-5-20）

表Ⅱ-5-20 乳がん検診の受診場所－就業状況別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	検 診 区 市 町 村 が 実 施 し た	個 病 院 的 や 人 間 ド ック で	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,800)	24.0	33.6	35.4	3.6	3.4
労働力人口	100.0 (1,001)	32.9	29.8	31.7	3.2	2.5
就業者	100.0 (993)	33.0	29.7	31.5	3.2	2.5
主に仕事	100.0 (617)	<u>40.7</u>	24.0	29.3	2.9	3.1
家事などのかたわらに仕事	100.0 (361)	19.9	39.6	34.9	3.9	1.7
その他	100.0 (15)	33.3	26.7	40.0	-	-
非労働力人口	100.0 (787)	12.7	38.5	40.5	3.8	4.4
家事(専業)	100.0 (505)	16.2	<u>38.6</u>	37.6	3.8	3.8
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (278)	6.5	38.8	<u>45.3</u>	3.6	5.8
21年度	100.0 (1,729)	21.2	32.4	39.9	3.5	2.9

注1) 労働力人口の就業者のうち、通学のかたわらに仕事については、該当がないため省略した。

2) 労働力人口のうち、仕事を探していたについては、母集団が8人のため省略した。

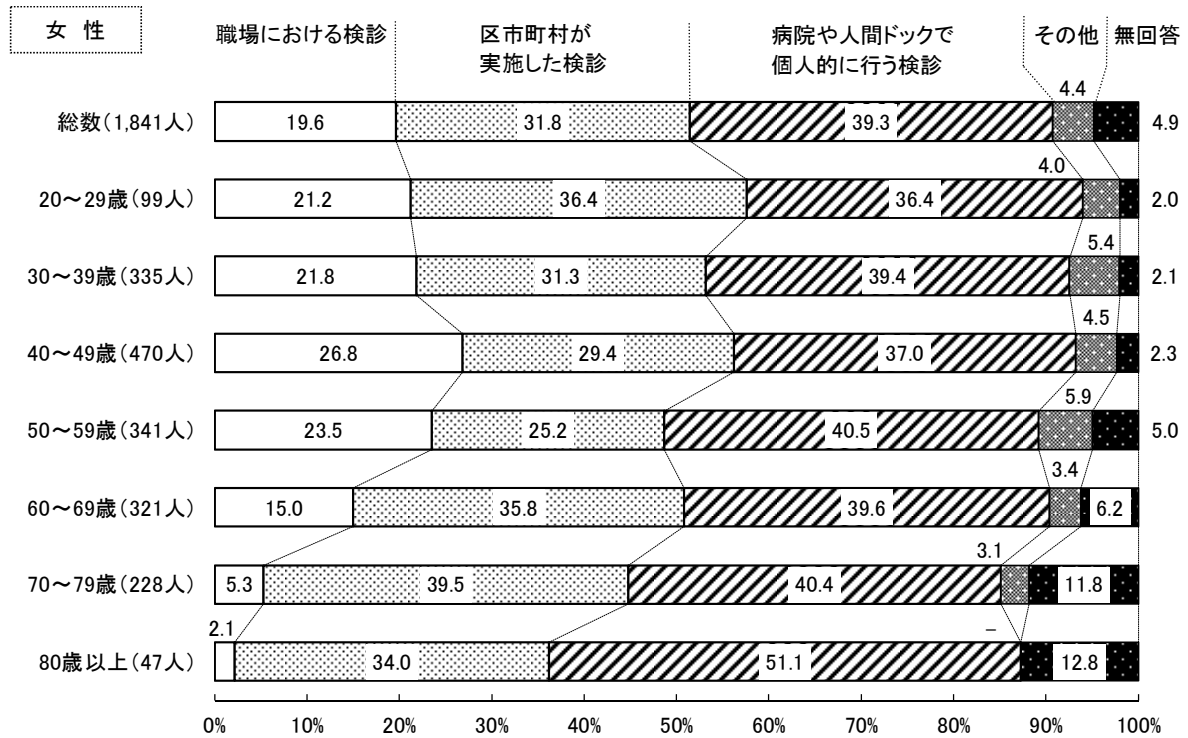
3) 非労働力人口のうち、通学のみについては、母集団が4人のため省略した。

(9) 子宮頸がん検診の受診場所一年齢階級別

「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合は、すべての年代で最も高い

子宮頸がん検診の受診場所について、女性の年齢階級別にみると、すべての年代で「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が最も高くなっている（20代では、「区市町村が実施した検診」と同じ割合）（約36%～51%）。（図Ⅱ-5-16）

図Ⅱ-5-16 子宮頸がん検診の受診場所一年齢階級別



(10) 子宮頸がん検診の受診場所－就業状況別

労働力人口、非労働力人口ともに「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が最も高い

子宮頸がん検診の受診場所について、就業状況別にみると、労働力人口（仕事をしている、探している人）、非労働力人口（働いていない人）ともに「病院や人間ドックで個人的に行う検診」を受けた人の割合が最も高く、それぞれ 35.7%、44.5%となっている。

「職場における検診」を受けた人の割合が最も高いのは、主に仕事をしている人で、31.3%であった。（表Ⅱ-5-21）

表Ⅱ-5-21 子宮頸がん検診の受診場所－就業状況別

	総 数	職 場 に お け る 検 診	検 区 市 町 村 が 実 施 し た	個 病 院 的 や 人 間 ド ッ ク で	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,841)	19.6	31.8	39.3	4.4	4.9
労働力人口	100.0 (1,051)	26.5	30.2	<u>35.7</u>	3.5	4.1
就業者	100.0 (1,041)	26.8	30.0	35.5	3.6	4.1
主に仕事	100.0 (655)	<u>31.3</u>	29.2	32.5	2.9	4.1
家事などのかたわらに仕事	100.0 (366)	18.9	31.1	40.7	4.9	4.4
その他	100.0 (17)	29.4	23.5	47.1	-	-
仕事を探していた	100.0 (10)	-	50.0	50.0	-	-
非労働力人口	100.0 (779)	10.4	33.9	<u>44.5</u>	5.3	5.9
家事(専業)	100.0 (526)	12.2	32.1	44.9	5.9	4.9
その他(幼児・高齢・病気等)	100.0 (248)	6.9	37.5	43.5	4.0	8.1
21年度	100.0 (1,993)	16.8	31.1	45.6	3.8	2.8

注 1) 21年度調査では、「子宮がん検診」としていた。

2) 労働力人口の就業者のうち、通学のかたわらに仕事については、母集団が3人のため省略した。

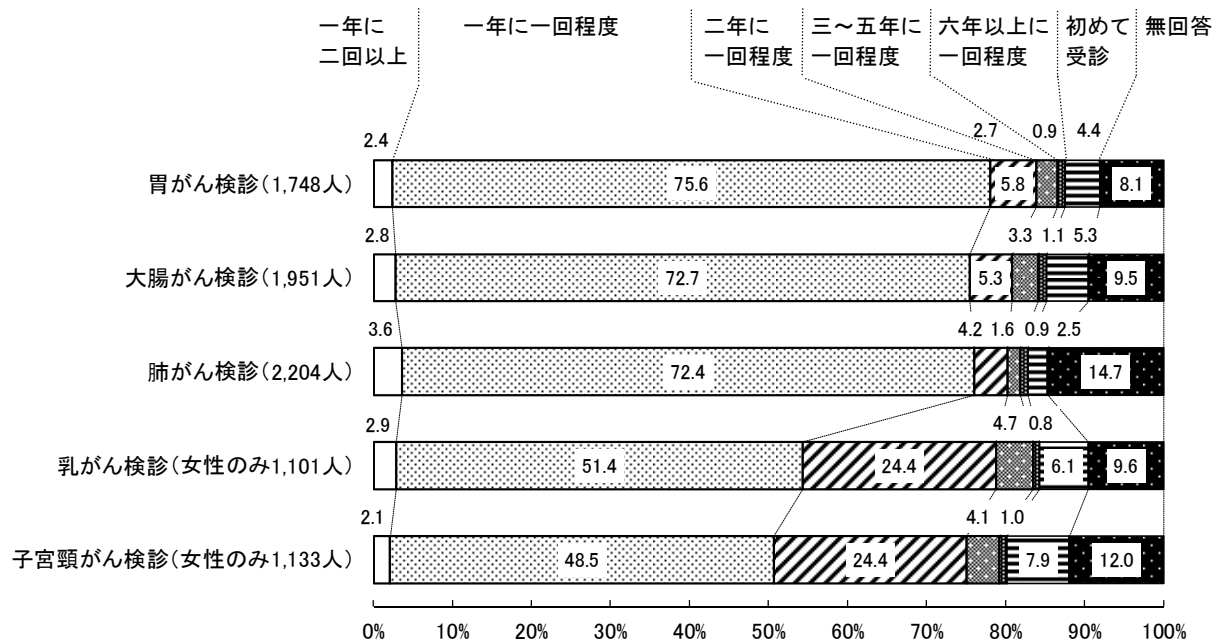
3) 非労働力人口のうち、通学のみについては、母集団が5人のため省略した。

7 がん検診の継続受診の状況

過去1年以内に胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診を受けた人及び過去2年以内に乳がん検診（女性のみ）、子宮頸がん検診（女性のみ）を受けた人に、過去の受診状況を聞いたところ、すべてのがん検診で「1年に1回程度」の割合が高くなっている。（図Ⅱ-5-17）

問 過去1年以内に受診した検診について、過去の受診状況を教えてください。

図Ⅱ-5-17 がん検診の継続受診の状況



(1) 胃がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

過去の受診状況は「1年に1回程度」の割合が、男女ともすべての年代で最も高い

胃がん検診の過去の受診状況について、性・年齢階級別にみると、男女ともすべての年代で「1年に1回程度」の人の割合が最も高くなっている（約51%～88%）。(表Ⅱ-5-22)

表Ⅱ-5-22 胃がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

	総 数	一 年 に 二 回 以 上	一 年 に 一 回 程 度	二 年 に 一 回 程 度	三 ～ 五 年 に 一 回 程 度	六 年 以 上 に 一 回 程 度	初 め て 受 診	無 回 答
総数	100.0 (1,748)	2.4	75.6	5.8	2.7	0.9	4.4	8.1
男	100.0 (910)	3.3	79.2	4.5	1.4	0.7	3.1	7.8
20～29歳	100.0 (4)	-	<u>75.0</u>	-	-	-	25.0	-
30～39歳	100.0 (82)	-	<u>87.8</u>	1.2	-	-	6.1	4.9
40～49歳	100.0 (236)	2.5	<u>84.3</u>	4.2	1.3	-	3.8	3.8
50～59歳	100.0 (205)	3.4	<u>86.8</u>	2.4	1.0	-	2.4	3.9
60～69歳	100.0 (182)	3.3	<u>78.0</u>	2.7	1.1	2.2	2.2	10.4
70～79歳	100.0 (150)	6.0	<u>67.3</u>	9.3	2.7	1.3	0.7	12.7
80歳以上	100.0 (51)	3.9	<u>51.0</u>	11.8	3.9	-	5.9	23.5
女	100.0 (838)	1.4	71.7	7.3	4.1	1.2	5.8	8.5
20～29歳	100.0 (9)	-	<u>66.7</u>	-	-	-	33.3	-
30～39歳	100.0 (71)	-	<u>69.0</u>	5.6	-	1.4	18.3	5.6
40～49歳	100.0 (218)	-	<u>77.1</u>	5.0	5.0	0.5	6.0	6.4
50～59歳	100.0 (176)	1.7	<u>79.5</u>	5.7	3.4	1.1	2.3	6.3
60～69歳	100.0 (166)	2.4	<u>73.5</u>	8.4	4.2	-	1.8	9.6
70～79歳	100.0 (162)	1.2	<u>59.9</u>	11.7	5.6	3.1	4.9	13.6
80歳以上	100.0 (36)	8.3	<u>52.8</u>	8.3	2.8	2.8	13.9	11.1
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (1,582)	2.7	75.3	6.1	3.0	0.9	3.5	8.5
男 40歳以上	100.0 (824)	3.6	78.4	4.9	1.6	0.7	2.7	8.1
女 40歳以上	100.0 (758)	1.6	72.0	7.5	4.5	1.2	4.4	8.8

(2) 大腸がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

過去の受診状況は「1年に1回程度」の割合が、男女ともすべての年代で最も高い

大腸がん検診の過去の受診状況について、性・年齢階級別にみると、男女ともすべての年代で「1年に1回程度」の人の割合が最も高くなっている（約48%～85%）。(表Ⅱ-5-23)

表Ⅱ-5-23 大腸がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

	総 数	一 年 に 二 回 以 上	一 年 に 一 回 程 度	二 年 に 一 回 程 度	三 ～ 五 年 に 一 回 程 度	六 年 以 上 に 一 回 程 度	初 め て 受 診	無 回 答
総数	100.0 (1,951)	2.8	72.7	5.3	3.3	1.1	5.3	9.5
男	100.0 (965)	3.4	74.9	5.0	2.4	0.9	4.5	8.9
20～29歳	100.0 (6)	16.7	<u>50.0</u>	-	-	-	16.7	16.7
30～39歳	100.0 (73)	1.4	<u>84.9</u>	1.4	1.4	-	5.5	5.5
40～49歳	100.0 (237)	1.3	<u>83.1</u>	3.0	1.3	0.8	6.3	4.2
50～59歳	100.0 (215)	4.7	<u>78.1</u>	4.7	1.9	0.5	5.1	5.1
60～69歳	100.0 (191)	4.2	<u>76.4</u>	2.1	1.0	1.6	3.7	11.0
70～79歳	100.0 (181)	3.9	<u>64.6</u>	10.5	6.1	1.1	1.1	12.7
80歳以上	100.0 (62)	4.8	<u>48.4</u>	11.3	3.2	1.6	4.8	25.8
女	100.0 (986)	2.1	70.5	5.7	4.3	1.2	6.1	10.1
20～29歳	100.0 (10)	10.0	<u>70.0</u>	-	-	10.0	-	10.0
30～39歳	100.0 (57)	3.5	<u>71.9</u>	1.8	1.8	1.8	14.0	5.3
40～49歳	100.0 (230)	0.4	<u>78.3</u>	3.9	4.3	0.4	6.5	6.1
50～59歳	100.0 (208)	2.9	<u>73.1</u>	5.3	3.4	1.0	4.3	10.1
60～69歳	100.0 (221)	2.3	<u>72.9</u>	4.1	4.1	1.4	4.5	10.9
70～79歳	100.0 (197)	1.5	<u>60.4</u>	10.2	6.6	1.0	5.6	14.7
80歳以上	100.0 (63)	4.8	<u>55.6</u>	9.5	3.2	3.2	11.1	12.7
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (1,805)	2.7	72.3	5.7	3.5	1.1	5.0	9.8
男 40歳以上	100.0 (886)	3.5	74.3	5.3	2.5	1.0	4.3	9.1
女 40歳以上	100.0 (919)	2.0	70.4	6.0	4.5	1.1	5.7	10.4

(3) 肺がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

過去の受診状況は「1年に1回程度」の割合が、男女ともすべての年代で最も高い

肺がん検診の過去の受診状況について、性・年齢階級別にみると、男女ともすべての年代で「1年に1回程度」の人の割合が最も高くなっている（約52%～87%）。(表Ⅱ-5-24)

表Ⅱ-5-24 肺がん検診の継続受診の状況－性・年齢階級別

	総 数	一 年 に 二 回 以 上	一 年 に 一 回 程 度	二 年 に 一 回 程 度	三 ～ 五 年 に 一 回 程 度	六 年 以 上 に 一 回 程 度	初 め て 受 診	無 回 答
総数	100.0 (2,204)	3.6	72.4	4.2	1.6	0.9	2.5	14.7
男	100.0 (1,148)	3.7	75.4	3.8	1.0	0.5	1.9	13.6
20～29歳	100.0 (22)	9.1	<u>68.2</u>	4.5	-	-	4.5	13.6
30～39歳	100.0 (108)	0.9	<u>87.0</u>	0.9	-	-	3.7	7.4
40～49歳	100.0 (273)	3.3	<u>81.7</u>	3.3	0.7	-	1.8	9.2
50～59歳	100.0 (244)	5.3	<u>83.6</u>	2.0	-	-	1.2	7.8
60～69歳	100.0 (227)	5.3	<u>74.4</u>	1.3	-	0.9	1.3	16.7
70～79歳	100.0 (204)	1.0	<u>60.8</u>	9.3	3.9	1.0	2.5	21.6
80歳以上	100.0 (70)	5.7	<u>52.9</u>	8.6	1.4	2.9	1.4	27.1
女	100.0 (1,056)	3.4	69.1	4.6	2.4	1.3	3.1	16.0
20～29歳	100.0 (23)	4.3	<u>69.6</u>	-	-	-	4.3	21.7
30～39歳	100.0 (79)	5.1	<u>67.1</u>	1.3	1.3	1.3	10.1	13.9
40～49歳	100.0 (250)	1.2	<u>75.2</u>	4.4	4.0	1.6	3.2	10.4
50～59歳	100.0 (230)	5.7	<u>75.7</u>	3.9	0.9	-	1.3	12.6
60～69歳	100.0 (212)	3.8	<u>69.3</u>	3.3	2.8	0.9	1.9	17.9
70～79歳	100.0 (193)	3.1	<u>58.5</u>	8.3	2.1	2.6	3.1	22.3
80歳以上	100.0 (69)	1.4	<u>56.5</u>	7.2	2.9	2.9	4.3	24.6
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (1,972)	3.6	71.9	4.6	1.8	1.0	2.1	15.1
男 40歳以上	100.0 (1,018)	3.9	74.4	4.1	1.1	0.6	1.7	14.2
女 40歳以上	100.0 (954)	3.2	69.3	5.0	2.5	1.4	2.5	16.0

(4) 乳がん検診の継続受診の状況一年齢階級別

過去の受診状況は「1年に1回程度」の割合が、すべての年代で最も高い

乳がん検診の過去の受診状況について、女性の年齢階級別にみると、すべての年代で「1年に1回程度」の人の割合が最も高くなっている（約28%～58%）。（表Ⅱ-5-25）

表Ⅱ-5-25 乳がん検診の継続受診の状況一年齢階級別

	総 数	一 年 に 二 回 以 上	一 年 に 一 回 程 度	二 年 に 一 回 程 度	三 ～ 五 年 に 一 回 程 度	六 年 以 上 に 一 回 程 度	初 め て 受 診	無 回 答
総数(女)	100.0 (1,101)	2.9	51.4	24.4	4.7	0.8	6.1	9.6
20～29歳	100.0 (27)	3.7	<u>51.9</u>	11.1	-	-	33.3	-
30～39歳	100.0 (167)	2.4	<u>57.5</u>	13.8	3.6	0.6	10.8	11.4
40～49歳	100.0 (335)	2.7	<u>54.3</u>	22.1	5.1	1.2	6.3	8.4
50～59歳	100.0 (269)	4.1	<u>56.1</u>	24.2	4.1	0.4	3.0	8.2
60～69歳	100.0 (174)	1.7	<u>43.1</u>	34.5	3.4	1.1	4.0	12.1
70～79歳	100.0 (108)	1.9	<u>38.9</u>	36.1	9.3	0.9	0.9	12.0
80歳以上	100.0 (21)	9.5	<u>28.6</u>	23.8	9.5	-	14.3	14.3
(再掲) 40歳以上	100.0 (907)	3.0	50.3	26.8	5.1	0.9	4.4	9.6

(5) 子宮頸がん検診の継続受診の状況一年齢階級別

過去の受診状況は「1年に1回程度」の割合が、すべての年代で最も高い

子宮頸がん検診の過去の受診状況について、女性の年齢階級別にみると、すべての年代で「1年に1回程度」の人の割合が最も高くなっている（約27%～58%）。(表Ⅱ-5-26)

表Ⅱ-5-26 子宮頸がん検診の継続受診の状況一年齢階級別

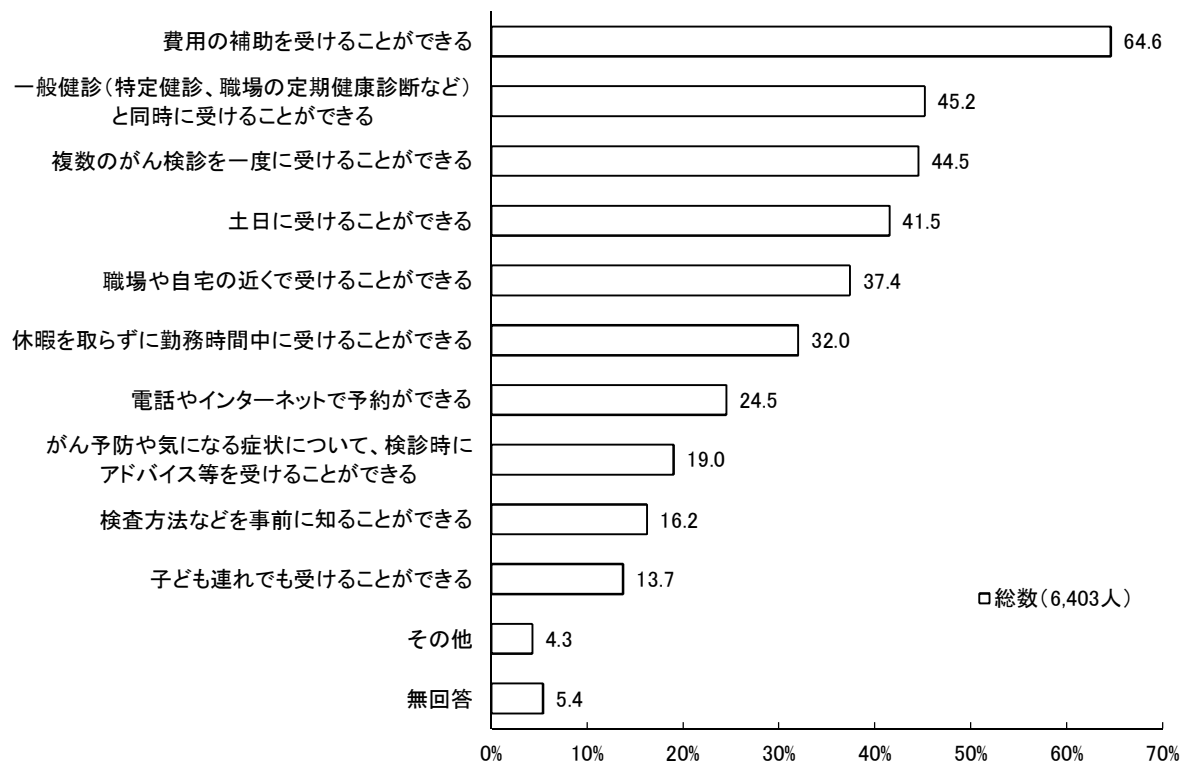
	総 数	一 年 に 二 回 以 上	一 年 に 一 回 程 度	二 年 に 一 回 程 度	三 ～ 五 年 に 一 回 程 度	六 年 以 上 に 一 回 程 度	初 め て 受 診	無 回 答
総数(女)	100.0 (1,133)	2.1	48.5	24.4	4.1	1.0	7.9	12.0
20～29歳	100.0 (80)	2.5	<u>27.5</u>	27.5	2.5	-	26.3	13.8
30～39歳	100.0 (263)	3.0	<u>42.2</u>	23.2	2.7	0.4	12.9	15.6
40～49歳	100.0 (326)	1.2	<u>58.0</u>	19.6	4.6	0.9	5.2	10.4
50～59歳	100.0 (218)	3.7	<u>56.4</u>	23.9	1.8	0.9	3.7	9.6
60～69歳	100.0 (141)	0.7	<u>46.8</u>	29.8	5.7	1.4	5.0	10.6
70～79歳	100.0 (92)	1.1	<u>37.0</u>	32.6	9.8	3.3	2.2	14.1
80歳以上	100.0 (13)	-	<u>38.5</u>	38.5	15.4	-	-	7.7
(再掲) 40歳以上	100.0 (790)	1.8	52.8	24.4	4.8	1.3	4.3	10.6

8 がん検診受診の条件[複数回答]

どのような環境が整えば、がん検診を受診する人が増えると思うか聞いたところ、「費用の補助を受けることができる」の割合が最も高く 64.6%、次いで、「一般健診（特定健診、職場の定期健康診断など）と同時に受けることができる」が 45.2%、「複数のがん検診を一度に受けることができる」が 44.5%であった。（図Ⅱ-5-18）

問 どのような環境が整えば、がん検診を受診する人が増えると思いますか。

図Ⅱ-5-18 がん検診受診の条件[複数回答]



(1) がん検診受診の条件[複数回答]一性・年齢階級別

「費用の補助を受けることができる」の割合が、男女とも最も高い

がん検診受診の条件について、性・年齢階級別にみると、男女とも、「費用の補助を受けることができる」の割合が最も高く、63.9%、65.2%となっている。

また、「子ども連れでも受けることができる」の割合は、女性18.0%、男性8.9%で女性の方が9.1ポイント高く、特に20代～40代女性の割合が高くなっている。(表Ⅱ-5-27)

表Ⅱ-5-27 がん検診受診の条件[複数回答]一性・年齢階級別

	総数	電話やインターネットで予約 ができる	費用の補助を受けることができる	休暇を取らずに勤務時間中に受けることができる	子ども連れでも受けることができる	職場や自宅の近くで受けることができる	土日に受けることができる	がん予防や気になる症状について、検診時にアドバイスを受けられることができる	検査方法などを事前に知ることができる	複数のがん検診を一度に受けることができる	定期健康診(特定健診、職場の受けることができる)	一般健診(特定健診、職場の受けることができる)	その他	無回答
総数	100.0 (6,403)	24.5	64.6	32.0	13.7	37.4	41.5	19.0	16.2	44.5	45.2	4.3	5.4	
男	100.0 (2,994)	24.7	<u>63.9</u>	34.9	<u>8.9</u>	37.4	40.1	17.3	14.2	41.0	43.6	3.7	5.2	
20～29歳	100.0 (289)	38.8	65.1	49.1	12.1	38.1	44.6	15.2	19.7	35.3	34.6	4.5	7.3	
30～39歳	100.0 (455)	29.2	71.4	51.6	16.0	41.8	50.3	11.4	13.8	35.4	46.4	2.0	4.0	
40～49歳	100.0 (589)	27.0	67.9	45.7	10.9	45.7	55.0	15.6	14.1	47.7	45.7	3.9	1.9	
50～59歳	100.0 (418)	25.6	63.9	44.5	5.5	43.8	50.7	17.2	13.4	47.4	46.2	2.9	3.8	
60～69歳	100.0 (516)	17.8	67.4	26.0	6.8	35.1	34.1	18.2	12.8	42.6	46.1	4.8	3.9	
70～79歳	100.0 (516)	19.4	56.2	10.5	4.3	24.6	18.4	20.5	12.8	38.4	43.2	2.7	8.1	
80歳以上	100.0 (211)	18.0	44.5	12.3	6.2	28.4	17.5	28.0	16.1	32.7	34.1	7.6	13.3	
女	100.0 (3,409)	24.3	<u>65.2</u>	29.4	<u>18.0</u>	37.3	42.7	20.4	18.0	47.6	46.5	4.7	5.5	
20～29歳	100.0 (300)	36.0	76.3	51.0	<u>24.3</u>	50.7	58.0	14.3	22.7	44.0	47.0	1.7	5.3	
30～39歳	100.0 (457)	35.2	78.8	44.9	<u>40.0</u>	44.6	64.1	19.7	18.4	53.8	50.3	3.1	3.5	
40～49歳	100.0 (620)	28.9	71.1	40.3	<u>24.4</u>	45.8	57.1	19.5	16.5	59.0	51.8	3.7	1.8	
50～59歳	100.0 (486)	25.9	74.5	38.5	17.3	45.9	57.2	19.8	18.7	60.5	51.0	4.1	1.9	
60～69歳	100.0 (596)	20.1	61.7	15.9	7.9	32.0	29.9	22.0	19.3	47.8	46.0	4.5	3.9	
70～79歳	100.0 (643)	15.7	54.7	12.4	8.2	24.4	20.5	25.5	18.4	35.3	40.6	4.8	10.7	
80歳以上	100.0 (307)	10.4	36.2	10.4	7.5	20.2	15.0	16.9	11.1	23.1	36.2	13.4	14.0	
(再掲) 総数 40歳以上	100.0 (4,902)	21.5	61.9	26.8	10.5	35.4	37.4	20.1	15.6	45.1	45.1	4.7	5.5	
男 40歳以上	100.0 (2,250)	22.0	62.2	29.7	7.0	36.4	37.5	18.8	13.6	42.9	44.2	4.0	5.2	
女 40歳以上	100.0 (2,652)	21.0	61.6	24.3	13.5	34.6	37.3	21.3	17.3	46.9	45.8	5.4	5.8	